

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		○身体拘束をしないケアの実践において 施錠せず常に解放的で、身体的な拘束は行っていないが、「ちょっと待って下さい」等言葉での精神的な抑制はどうか、幅広く学ぶ機会を設ける必要がある。	○利用者が抱えている不安や混乱等の要因を引き出し、それによって与える身体的、精神的苦痛を理解し、拘束のないケアを心がける。 ○利用者の言葉をさえぎったり、行動を制限するような言葉掛けで精神的な抑制は行わない。	○勉強会を実施し徹底理解を図る。(全員で日々の行動を振り返りながら言葉掛けについて話し合い、問題点を探る。職員一人ひとりがきちんと認識する。) ○申し送り時等で自分自身の反省やお互い気付いたこと等話し合う。 ○マニュアルを作成する。	6ヶ月
2		○急変や事故発生時の備え 併設病院と24時間体制で連携が取れているが、急変時の応急手当や初期対応については頻回に実施訓練をおこなう必要がある。	○職員全員が様々な緊急事態に、慌てず対応できるように備える。	○誤嚥、転倒骨折、心筋梗塞、脳梗塞、脱水、心肺蘇生法、感染症等の対処方法、救命法を年間勉強会に計画し、実践を始めている。	12ヶ月
3		○災害対策 併設病院と常に協力体制がとれているが、更に地域との連携構築に努める必要がある。	○五楽庵独自の訓練の際、地域の方にも参加協力を依頼し理解を求める。	○防災訓練時、町内会長を通じて住民の方に参加協力をお願いする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月